

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」(主なもの) <建設部・環境部>

令和3年(2021年)4月15日
建設部技術管理室 企画班
(室長)栗林一彦(担当)関 貴幸
電話 026-235-7294
FAX 026-235-7482
E-mail gjjukan@pref.nagano.lg.jp

令和3年(2021年)4月15日
環境部生活排水課 流域下水道係
(課長)中島俊一(担当)小林 宏
電話 026-235-7320
FAX 026-235-7399
E-mail seikatsuhaisui@pref.nagano.lg.jp

資料 7-1

<<建設部>>

区分	対策項目	3か年 緊急 対策	5か年 加速化 対策	5か年加速化対策		R2.2補 予算額※ (百万円)
				国の取組目標	本県の取組方針	
道路	道路法面・盛土対策 ・豪雨による土砂災害等の発生を防止	○	○	・緊急輸送路において、豪雨による土砂災害により、通行止めが長期化するおそれのある箇所約7割について法面・盛土対策を概ね完了	・3か年緊急対策で未実施の法面・盛土対策を推進し、災害時の集落孤立や通行止めとなるリスクを解消するとともに危険箇所を迂回するバイパストンネルなどの整備も実施	13,486
	道路ネットワークの機能強化対策 ・高規格道路のミッシングリンクの解消 ・暫定2車線区間の4車線化 ・高規格道路と代替機能を発揮する直轄道路とのダブルネットワーク化等	-	○	・高規格道路において、ミッシングリンクの約3割の区間について全線または一部区間の供用 ・高規格道路において、有料道路の4車線化優先区間の約5割の区間について4車線化事業に着手	・国県道の災害リスク箇所におけるダブルネットワークの整備を推進 ・避難路に指定されている都市計画道路の整備を推進	
	道路施設の老朽化対策 ・定期点検等により確認された修繕が必要な道路施設(橋梁、トンネル、道路付属物、舗装等)の対策の集中的な実施	-	○	・地方公共団体が管理する道路において、定期点検により緊急又は早期に対策を講じる必要があると判定された橋梁の約7割について修繕に着手 ・緊急輸送道路等の防災上重要な道路において、路盤が損傷している区間について修繕を概ね完了	・一巡目の法定点検結果を反映した長寿命化修繕計画に基づき、緊急又は早期に対策が必要な道路施設(橋梁、トンネル、シェッド、舗装等)の補修を推進	
河川	流域治水対策(河川) ・河道掘削、堤防整備、堤防強化、ダム・遊水地の整備等を実施	○	○	・近年の被災状況を踏まえ、当面5か年で緊急的に河川整備を促進し、浸水面積を減少させる。	・各流域治水プロジェクトに位置付けた河川整備の推進 ・樹木伐採・河道掘削および老朽化等により機能が低下した既存堤防の強化等即効性のある対策を推進 ・情報機器(危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラ)の設置や想定最大降雨の浸水想定区域図の作成など、逃げ遅れゼロを目指した河川情報提供の充実	11,144
	河川施設の老朽化対策 ・ダム・水門施設の修繕・更新	-	○	・予防保全段階にあるダムの管理施設の健全度を高める。	・ダム等の重要河川施設(ダム、水門における放流設備、観測設備等)の長寿命化計画に基づく老朽化対策を実施	
砂防	流域治水対策(砂防) ・「いのち」と「くらし」を守る土砂災害対策の推進	○	○	・人家が集中する地域や、地域の社会・経済活動を支える基礎的インフラを保全する「いのち」と「くらし」を守る土砂災害対策の推進	・令和元年東日本台風・令和2年7月豪雨の災害箇所の早期完成の推進 ・各流域治水プロジェクトに位置付けた土砂災害対策の推進 ・人命に直結する要配慮者利用施設や避難所の被害を防止、最小化するため、「第2期長野県強靱化計画(H30~R4)」に基づき対策を加速化	14,154
	砂防関係施設の老朽化対策	-	○	・要対策施設のうち、社会的影響が大きく、特に緊急を要する施設(要緊急対策施設)のうち、約8割の老朽化対策を完了	・「長野県砂防関係施設長寿命化計画(H28年3月)」で、要対策に位置付けられた施設のうち緊急的な修繕等が必要な施設の対策を加速化	
都市公園	防災公園の機能確保に関する対策 ・災害発生時の避難地、防災拠点としての機能確保	-	○	・災害発生時に避難地や防災拠点となる防災公園の機能の充実	・地震災害や風水害など多様な災害に対応した防災公園の整備により、災害発生時の避難地、防災拠点としての機能確保の推進	169
	都市公園の老朽化対策	-	○	・インフラ長寿命化計画に基づく緊急度の高い老朽化した公園施設の更新・改築等を着実に実施	・公園施設長寿命化計画で緊要性を有する施設について、更新・改築を推進	
建設部計						38,953

<<環境部>>

区分	対策項目	3か年 緊急 対策	5か年 加速化 対策	5か年加速化対策		R2.2補 予算額※ (百万円)
				国の取組目標	本県の取組方針	
下水道	下水道施設の耐震化対策	○	○	・耐震化により、防災拠点や病院等の重要施設に係る下水道管路や下水処理場等において、感染症の蔓延を防ぐために下水の溢水リスクを低減	・下水道総合地震対策計画に基づき、重要な下水道管路や下水処理場の耐震化を推進	669
	下水道施設の老朽化対策	-	○	・予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた下水道施設の老朽化対策推進	・ストックマネジメント計画に基づき、重要な下水道施設の改築更新の推進	
環境部計						669

※予算額には総合経済対策も含まれます。

※単位未満四捨五入により合計と内訳が一致しないことがあります。

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」(主なもの) <農政部・林務部>

令和3年(2021年)4月15日
農政部農地整備課 計画調査係
(課長)飯島 好文 (担当)宮嶋 裕樹
電話 026-235-7237
FAX 026-233-4069
E-mail nochi@pref.nagano.lg.jp

令和3年(2021年)4月15日
林務部森林政策課指導担当
(課長)今井 達哉 (担当)毛受 誠
電話 026-235-7265
FAX 026-234-0330
E-mail rinsei@pref.nagano.lg.jp

資料7-2

<<農政部>>

区分	対策項目	3か年 緊急 対策	5か年 加速化 対策	5か年加速化対策		R2.2補 予算額※ (百万円)
				国の取組目標	本県の取組方針	
農業 水利 施設 等	流域治水対策(農業水利施設) ・ 農村地域の排水対策のための農業水利施設の整備を推進	—	○	・ 気候変動を見据えた流域治水対策の取組により、人命・財産の被害を防止・最小化する	・ 内水氾濫を防止する排水機場の更新・整備を推進 ・ 溢水被害等を防止する排水路の整備を推進	1,244
	農業水利施設等の老朽化、豪雨・地震対策 ・ 激甚化・頻発化する豪雨災害等に対応した基幹的農業水利施設や畑地かんがい施設の老朽化対策を推進 ・ 大規模地震に対応した水路橋等の耐震化を推進 ・ 地すべり防止施設の長寿命化を推進	○	○	・ 標準耐用年数を超過しつつある基幹的な農業水利施設等の箇所数がピークを迎えているとともに、南海トラフ等の大規模地震のリスクも高まっているため、老朽化対策や豪雨・地震対策を集中的に実施することで、適切な予防保全サイクルの下での施設機能の維持・発揮を確保する	・ 基幹的農業水利施設と畑地かんがい施設の長寿命化と機能保全計画の策定を推進 ・ 地すべり防止施設の長寿命化計画に基づく対策工事を推進 ・ 高速道路に架かる水路橋等の耐震化工事を推進	1,314
ため池	防災重点農業用ため池の防災・減災対策 ・ 防災重点農業用ため池の地震・豪雨対策の推進	○	○	・ 防災重点農業用ため池に係る防災対策を集中的かつ計画的に実施し、ため池の決壊による水害その他の災害から国民の生命及び財産を保護する。	・ 防災重点農業用ため池の地震・豪雨耐性評価や防災工事を推進	336
農政部計						2,894

<<林務部>>

区分	対策項目	3か年 緊急 対策	5か年 加速化 対策	5か年加速化対策		R2.2補 予算額※ (百万円)
				国の取組目標	本県の取組方針	
治山	人命・財産の被害を防止・最小化するための対策 ・ 山地災害危険地区等における治山及び森林整備対策 ・ 流域治水の取組と連携した1級河川上流域における治山対策 ・ 集落を保全する治山対策や海岸防災林の整備	○	○	・ 土石流等の発生リスクが高い山地災害危険地区の実施率(着手率)を引き上げる。 約65%(令和2年度)→約80%(令和7年度)	・ 令和元年東日本台風・令和2年7月豪雨の災害箇所の早期完成の推進 ・ 各流域治水プロジェクトに位置付けた流域の森林整備・治山対策の推進 ・ 山地災害危険地区等の保全対象となっている集落の保全を図るため、「第2期長野県強靱化計画(H30~R4)」に基づき対策を加速化	1,704
林道	山地災害危険地区等における森林整備対策 ・ 災害時に備えた特に重要な林道の整備・強化	○	○	・ 防災機能の強化に向けた排水施設の整備、法面の保全等による特に重要な路線の整備・強化実施率 達成目標:約70%	・ 持続的な森林経営の実現に向けて、強靱で災害に強い幹線林道の開設・改良を支援する。	46
造林	山地災害危険地区等の森林整備	○	○	・ 森林の防災・保水機能を発揮させるため、山地災害危険地区や重要インフラ施設の周辺、氾濫した河川上流域等を対象に間伐等の森林整備を実施	・ 各流域治水プロジェクトに位置付けた流域の森林整備 ・ R2.2補正での治山事業の個所付けを受けて、次年度から予算化する予定	
林務部計						1,750

※単位未満四捨五入により合計と内訳が一致しないことがあります。